

平成29年8月17日

あめつち

あめつち はじめ
～天地の初発のとき～



天と地の恵みにつつまれる旅へ。



西日本旅客鉄道株式会社

米子支社

天と地の恵みにつつまれる旅へ。

列車名

「あめつち」 あめつち はじめ
～天地の初発のとき～

- 「あめつち」＝漢字では「天」と「地」と書きます。
 - 山陰地方を舞台にした神話が多く書かれている古事記の、「天地（あめつち）の初発（はじめ）のとき」という書き出しに由来し列車名としました。
-

コンセプト

「ネイティブ・ジャパニーズ」

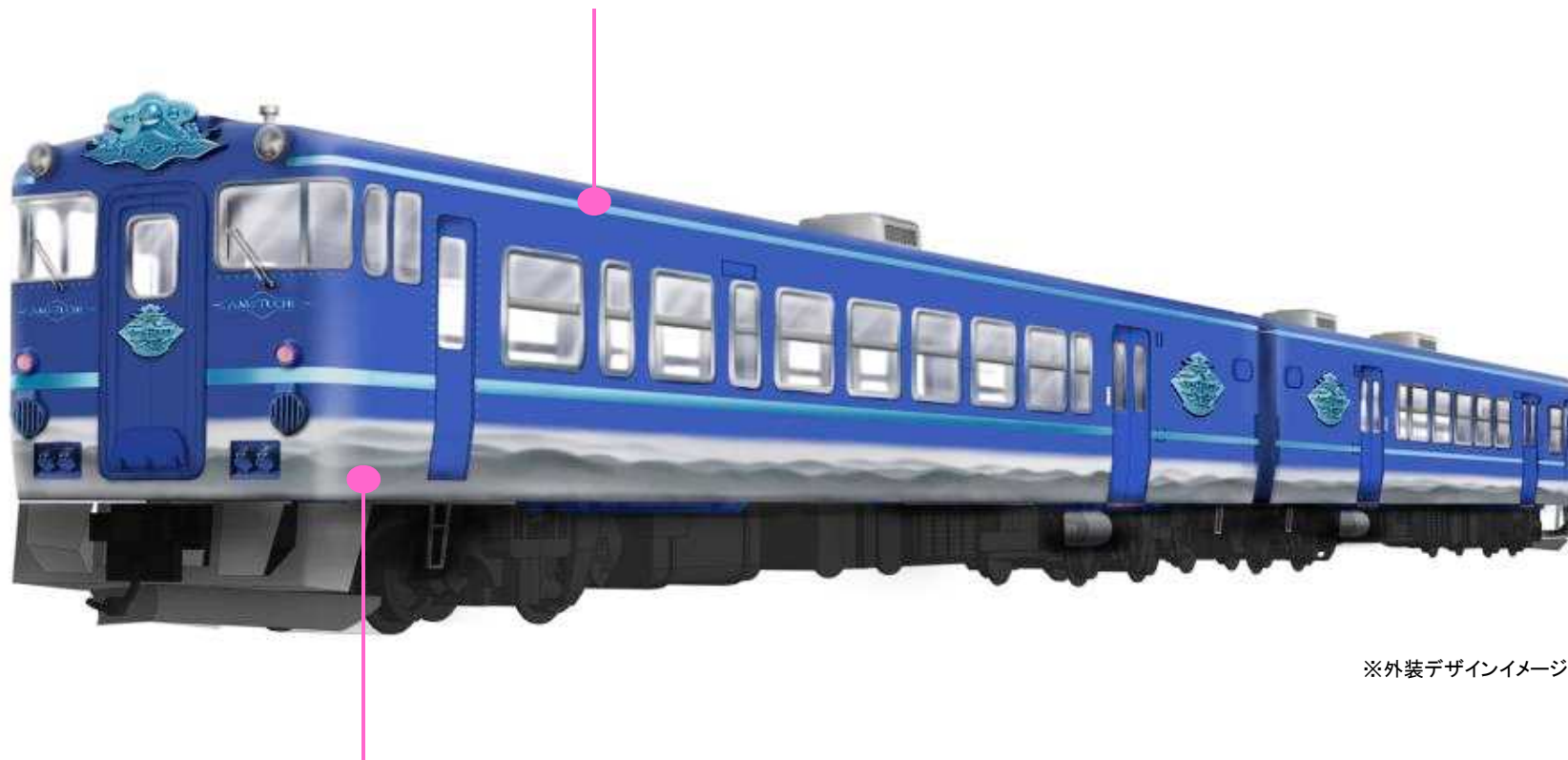
- 山陰地方は、豊かな自然はもちろんのこと、神社、お酒、歌舞伎、相撲など、日本文化の様々なルーツがあるとされ、また多くの神話が誕生した地です。
 - この自然や日本のルーツを、「ネイティブ・ジャパニーズ」というコンセプトで車両にデザインし、山陰ならではの「古くて新しい日本」を発見していただく旅を演出します。
-

サービス

- 車内では、山陰の豊かな自然の中で育まれた地産品や地元要因だお食事、お飲物などをご提供します。
- 日本海や大山の雄大な景色や宍道湖の夕陽などは徐行運転をして美しい景色をお楽しみいただきます。
- 演出やイベントの企画には地元の皆様のご協力も得ながら「山陰色」が豊かなものになりたいと考えています。

車両外装イメージ

- 車体全体の「紺碧(こんぺき)色」は、山陰の美しい空や海を表現しています。
- 全体をメタリックな色彩で仕上げ、神々しい雰囲気表現しています。



※外装デザインイメージです。

- 車体側面下部の「銀色」の帯模様は、山陰の美しい山並みと、たたら製鉄に因み日本刀の刃文(はもん)を表現しています。

車両内装イメージ

■内装の一部には鳥取県産の智頭杉や島根県産の松を使用します。

■因州和紙をランプシェードのように用い、光を演出します。



■青色は豊かな日本海の色を表しています。

※内装デザインはイメージです。

車両内装イメージ

■緑色は神々しい山の色を表しています。

■木目調のパネルを多用して白木の質感を表現しています。



※内装デザインはイメージです。

■石州瓦の素材でできたタイルを使用します。

ロゴデザインについて

コンセプト

「天」に対して光の放射状の縦ライン、
「地」に対して海の横ラインを対照的に見せるデザインです。

デザインのモチーフ

天つ神々・太陽

七つの八雲

金鷄(日本神話に登場する金色のトンビ)

山・海

白兔

ワニ(鮫)

文字要素

日本語表記：天地／あめつち

英語表記：AMETUCHI(デザインの都合上、「TU」は訓令式を採用)



※あめつちのロゴデザインはイメージです。